

令和5年度事業報告書

1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

3. 基本財産

392,386,463 円

4. 役員（令和6年3月31日現在）

役 職	氏 名	所 属 団 体 等
理 事 長	高 橋 英 登	(公社) 日本歯科医師会会長
副理事長	吉 岡 貴 司	サンスター(株) 取締役副会長
副理事長	蓮 池 芳 浩	(公社) 日本歯科医師会副会長
副理事長	小 林 慶 太	(公社) 日本歯科医師会日本歯科総合研究機構研究員
専務理事	小 玉 剛	(一社) 東京都東久留米市歯科医師会会長
常務理事	山 本 秀 樹	(公社) 日本歯科医師会常務理事
常務理事	寺 島 多実子	(公社) 日本歯科医師会常務理事
常務理事	三 代 知 史	神戸市中央区歯科医師会会長
常務理事	近 藤 太 郎	近藤医院院長
理 事	芦 谷 浩 明	(株) ロッテ執行役員・中央研究所所長
理 事	飯 島 勝 矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長
理 事	伊 藤 明 彦	(公社) 日本歯科医師会常務理事
理 事	上 野 尚 雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理 事	小 林 隆太郎	日本歯科医学会副会長
理 事	住 友 雅 人	(一社) 日本歯科医学会連合理事長
理 事	田 口 円 裕	東京歯科大学歯科医療政策学教授
理 事	谷 征 大	(株) ロッテ中央研究所チューニング研究部部長
理 事	柘 植 紳 平	(公社) 日本学校歯科医会会長
理 事	中 尾 潔 貴	(一社) 日本歯科商工協会会長
理 事	中 谷 道 子	サンスター(株) 広報部長
理 事	中 原 賢	日本歯科大学副学長
理 事	西 永 英 司	ライオン(株) サステナビリティ推進部長
理 事	丸 山 博 之	サンスター(株) プロケアチャネル営業部学術情報グループ長
理 事	山 本 美登里	(公社) 日本歯科医師会日本歯科総合研究機構主任研究員
理 事	吉 田 直 美	(公社) 日本歯科衛生士会会長

監 事	熊 澤 榮 三	(公社)福岡県歯科医師会顧問
監 事	酒 井 昭 則	(一社)岡山県歯科医師会顧問

5. 評議員 (令和6年3月31日現在)

氏 名	所 属 団 体 等
藤 田 純	(公社)福島県歯科医師会専務理事
大 島 修 一	(一社)埼玉県歯科医師会会長
井 上 恵 司	(公社)東京都歯科医師会会長
良 知 義 弘	(一社)静岡県歯科医師会副会長
橋 本 芳 紀	(一社)兵庫県歯科医師会会長
橋 本 成 人	(一社)愛媛県歯科医師会会長
脇 田 晴 彦	(一社)大分県歯科医師会会長
森 野 隆	(公社)日本歯科技工士会会長
齋 藤 秀 子	(公社)日本学校歯科医会副会長
山 中 一 剛	(一社)日本歯科商工協会副会長
渡 邊 浩 次	サンスター(株)プロケアチャンネル統括部長
満 武 純	ライオン(株)シニアフェロー
川 治 久 邦	パナソニック(株)ビューティ・パーソナルケア事業部 パーソナルブランドマネジメント部長
岡 林 一 登	(株)ロッテ中央研究所噛むこと研究部部長
鍵 溝 和 子	(公社)母子保健推進会議理事長
三 橋 裕 行	(一社)日本家族計画協会代表理事理事長
植 村 大 輔	(公財)母子衛生研究会事務局長
下 浦 佳 之	(公社)日本栄養士会専務理事
田 中 久美子	(一財)日本食生活協会会長
森 亨	(一財)日本公衆衛生協会会長

6. 事務局

職員4名 嘱託1名

7. 賛助会員 (令和6年3月31日現在)

A会員(歯科医師会) 249 歯科医師会
日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、郡市区歯科医師会(201)

B会員(団体・会社) 39 団体・会社
○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、
日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、
日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(15 団体)

○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、(株)ロッテ、パナソニック(株)、(株)ジーシー昭和薬品、
デンタルプロ(株)、アサヒプリテック(株) 他(24 社)

C会員（個人） 210名
○歯科医師（109名）
○歯科医師以外の個人（101名）

8. 会 議

（1）理事会

① 第7回理事会

開催日時 令和5年5月31日（水）午後1時～1時45分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者 出席理事数22名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、吉岡貴司、佐藤 保、小玉 剛、小山茂幸、飯島勝矢、住友雅人、柘植紳平、
西永英司、福田雅臣、丸山博之、山本秀樹、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

海野 仁、尾松素樹、芦谷浩明、上野尚雄、川口陽子、鳥山佳則、中尾潔貴、中谷道子、
吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠席者 欠席理事数1名

欠席した理事の氏名

谷 征大

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、堀 憲郎理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数23名のうち過半数の22名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保

2. 挨拶 理事長 堀 憲郎

3. 報告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として以下の事項について報告がなされた。

- ①第6回理事会の開催、②第23回評議員会の開催、③監事会の開催、④会誌「8020」の発行、⑤国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑥令和5年度8020運動ポスター募集、⑦理事長賞の贈呈、⑧調査研究事業、⑨調査研究事業等検討会、⑩助成事業、⑪後援等名義使用の許可、⑫8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第13弾）、⑬会員レター

(2) その他

議長の求めに応じ、海野常務理事より「財産運用に関する経過報告」、「賛助会費の納入依頼」について報告がなされた。

4. 議 事

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定により、令和5年6月21日開催の第24回評議員会にて諮る旨の提案がなされた。

小玉専務理事より令和4年度事業報告について、海野常務理事より令和4年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して資料に基づき説明がなされ、長尾監事より監査報告が行われたのち、全員異議なく承認した。

第2号議案 評議員の選任について

小玉専務理事より、定款13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員を令和5年6月21日開催の第24回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第1項「評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規程により令和9年6月開催予定の定時評議員会までとする。

◇評議員候補者（順不同、20名）

評議員	藤田 純	(公社)福島県歯科医師会	理事
評議員	大島 修一	(一社)埼玉県歯科医師会	会長
評議員	井上 恵司	(公社)東京都歯科医師会	会長
評議員	良知 義弘	(一社)静岡県歯科医師会	監事
評議員	橋本 芳紀	(一社)兵庫県歯科医師会	副会長
評議員	橋本 成人	(一社)愛媛県歯科医師会	会長
評議員	脇田 晴彦	(一社)大分県歯科医師会	会長
評議員	森野 隆	(公社)日本歯科技工士会	会長
評議員	齋藤 秀子	(公社)日本学校歯科医会	副会長
評議員	宮内 啓友	(一社)日本歯科商工協会	理事
評議員	満武 純	ライオン(株) シニアフェロー	
評議員	渡邊 浩次	サンスター(株) プロケアチャンネル統括部長	
評議員	川治 久邦	パナソニック(株) ビューティ・パーソナルケア事業部 パーソナルブランドマネジメント部長	
評議員	岡林 一登	(株)ロッテ 中央研究所 噛むこと研究部部長	
評議員	鎗溝 和子	(公社)母子保健推進会議	常務理事
評議員	三橋 裕行	(一社)日本家族計画協会	代表理事理事長

評議員	植村	大輔	(公財)母子衛生研究会 事業本部長
評議員	下浦	佳之	(公社)日本栄養士会 専務理事
評議員	田中	久美子	(一財)日本食生活協会 会長
評議員	森	亨	(一財)日本公衆衛生協会 会長

第3号議案 理事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り理事を令和5年6月21日開催の第24回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和7年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇理事候補者（五十音順、25名）

理事	芦谷	浩明	(株)ロッテ 中央研究所 執行役員・所長
理事	飯島	勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
理事	伊藤	明彦	(一社)熊本県歯科医師会 会長
理事	上野	尚雄	国立がん研究センター中央病院 歯科医長
理事	小玉	剛	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	小林	慶太	元(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	小林	隆太郎	日本歯科医学会 総務理事
理事	近藤	太郎	近藤医院 院長
理事	住友	雅人	(一社)日本歯科医学会連合 理事長
理事	高橋	英登	日本歯科医師連盟 会長
理事	田口	円裕	東京歯科大学歯科医療政策学 教授
理事	谷	征大	(株)ロッテ 中央研究所 チューイング研究部部長
理事	柘植	紳平	(公社)日本学校歯科医会 副会長
理事	寺島	多実子	(公社)東京都歯科医師会 会員
理事	中尾	潔貴	(一社)日本歯科商工協会 会長
理事	中谷	道子	サンスター(株) 広報部長
理事	中原	賢	日本歯科大学 副学長
理事	西永	英司	ライオン(株) 研究開発本部 副本部長兼戦略統括部長
理事	蓮池	芳浩	(一社)石川県歯科医師会 顧問
理事	丸山	博之	サンスター(株) プロケアチャンネル営業部 学術情報グループ長
理事	三代	知史	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	山本	秀樹	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	山本	美登里	(公社)日本歯科医師会日本歯科総合研究機構 主任研究員
理事	吉岡	貴司	サンスター(株) 取締役副会長
理事	吉田	直美	(公社)日本歯科衛生士会 会長

第4号議案 監事の選任について

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり監事を令和5年6月21日開催の第24回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和7年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇監事候補者（五十音順、2名）

監事 熊澤 榮三 （公社）福岡県歯科医師会 顧問

監事 酒井 昭則 （一社）岡山県歯科医師会 顧問

第5号議案 役員の報酬について

小玉専務理事より、本財団の運営整備並びに新規事業の検討を進めるため、本年6月の役員改選を機に常勤専務理事を置く場合、「公益財団法人8020推進財団 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」に則り報酬を支払うことの提案がなされ、全員異議なく承認した。

第6号議案 第24回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第24回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団

第24回 評議員会議事次第

日 時 令和5年6月21日（水）午前11時

場 所 歯科医師会館 701・702会議室（WEB併用）

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報告
 - (1) 会務報告
 - (2) その他
6. 議 事
 - 第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算
 - 第2号議案 評議員の選任
 - 第3号議案 理事の選任
 - 第4号議案 監事の選任
 - 第5号議案 役員の報酬について
7. 協 議
8. 閉会の辞

5. 協 議

6. 閉会の辞

専務理事 小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長	堀	憲 郎
監 事	長 尾	博 通
監 事	平 田	幸 夫

② 第1回理事会

開催日時 令和5年6月21日（水）午後1時～1時50分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数22名 出席監事数2名

出席した理事の氏名

飯島勝矢、伊藤明彦、小玉 剛、小林慶太、小林隆太郎、近藤太郎、住友雅人、高橋英登、田口円裕、谷 征大、寺島多実子、中尾潔貴、中谷道子、中原 賢、西永英司、蓮池芳浩、丸山博之、三代知史、山本秀樹、山本美登里、吉岡貴司、吉田直美

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数3名

欠席した理事の氏名

芦谷浩明、上野尚雄、柘植伸平

会議の成立

開会に先立ち、蓮池理事より理事会の召集手続きの省略について、定款第38条第5項「前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。」に基づき、本理事会の開催について理事・監事全員の同意を得ていることが報告された。

その後、理事総数25名のうち過半数の22名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため本会議の成立を宣した。

なお、定款第39条により「理事会の議長は理事長がこれに当たる。」となっており新理事長が決まるまでの間、暫時仮議長を務めることについて提案され全員異議無く了承された。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

蓮池理事より日程の一部を変更し日程4. 議事の第1号議案「代表理事の選定」について、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、高橋理事を代表理事に選定する旨、提案があり全員異議なく承認し、定款第39条第1項に基づき高橋英登理事長が議長に当たった。

- | | |
|------------------|---------|
| 1. 開会の辞 | 小 林 慶 太 |
| 2. 挨拶 | 高 橋 英 登 |
| 3. 自己紹介 | |
| 各理事により自己紹介が行われた。 | |

4. 議 事

第1号議案 代表理事の選定

蓮池理事より、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、以下の通り代表理事を選定する旨、提案があり全員異議なく承認した。

なお、被選定者は代表理事の就任を承諾した。

代表理事 高 橋 英 登 理 事 長

第2号議案 業務執行理事の選定

蓮池理事より、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、以下の通り業務執行理事を選定する旨、提案があり全員異議なく承認した。

業務執行理事	吉 岡 貴 司	副理事長
同	蓮 池 芳 浩	副理事長
同	小 林 慶 太	副理事長
同	小 玉 剛	専務理事
同	山 本 秀 樹	常務理事
同	寺 島 多実子	常務理事
同	三 代 知 史	常務理事
同	近 藤 太 郎	常務理事

第3号議案 各種委員会委員の選任

蓮池副理事長より、本財団の定款ならびに、委員会規程、8020調査研究委員会規程、ポスター審査会規程、調査研究事業等検討会の規定により、以下の委員会の委員を選任する旨、提案があり、全員異議無く承認した。なお、任期は令和5年7月1日より2年とする。

- ・会誌編集委員会
- ・地域歯科保健活動推進委員会
- ・広報委員会
- ・8020調査研究委員会
- ・ポスター審査会
- ・調査研究事業等検討会

第4号議案 専務理事の事務局長代行について

蓮池副理事長より、本財団定款第53条第3項「事務局長及び職員は、理事長が任免する。ただし、事務局長等重要な職員は、予め理事会の承認を得ることとする。」、また、事務処理規則第3条第2項「事務局長は、理事会の議を経て専務理事が代行することができる。」の規定により、小玉専務理事が事務局長を代行する旨、提案があり、全員異議無く承認した。

第5号議案 専務理事（常勤）の報酬について

蓮池副理事長より、第24回評議員会で承認された役員報酬決議および役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程第3条に基づき、専務理事が事務局長を代行していることを前提として、専務理事の報酬額を月額30万円とする旨、提案があり、全員異議無く承認した。なお、審議対象の小玉剛専務理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

第6号議案 第25回評議員会の開催について

蓮池副理事長より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第25回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人 8020 推進財団

第 25 回 評議員会議事次第

日 時 令和 5 年 7 月 19 日（水）午後 2 時

場 所 歯科医師会館 1 階大会議室

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報告
 - ①理事・監事について
 - ②本財団の事業内容について
 - ③令和 5 年度事業計画・予算
6. 協議
 - ・フォーラム 8020 について
 - ・その他
7. 閉会の辞

5. 報 告

- (1) 8020 推進財団の組織体制
- (2) 令和 5 年度事業計画
- (3) 令和 5 年度予算書
- (4) ロゴマーク使用許可審査委員会委員一覧
- (5) 嘱託等一覧

6. 協 議

- (1) フォーラム 8020 について

小林副理事長より令和 5 年度のフォーラム 8020 の開催日時・場所・テーマ等について説明がなされ、意見交換を行った。

- (2) その他

蓮池副理事長より 8020 運動のブラッシュアップに向けた情報整理のため、次回の理事会において 8020 情報収集委員会について協議を予定する旨の説明がなされた。

7. 連絡事項

第 2 回理事会の開催日時について小玉専務理事より周知がなされた。

8. 閉会の辞

蓮 池 芳 浩

議事録署名人

理 事 長	高 橋	英 登
監 事	熊 澤	榮 三
監 事	酒 井	昭 則

③ 第2回理事会

開催日時 令和5年7月19日（水）午後1時～1時55分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数22名 出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、近藤太郎、伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、柘植伸平、西永英司、丸山博之、山本美登里、吉田直美

Web会議により出席した理事

上野尚雄、谷 征大、中尾潔貴、中谷道子、中原 賢

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数3名

欠席した理事の氏名

吉岡貴司、芦谷浩明、飯島勝矢

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の22名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 小林 慶太

2. 挨拶 理事長 高橋 英登

3. 報告

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として以下の事項の報告が行なされた。

①第24回評議員会の開催、①第1回理事会の開催、③ロゴマークの普及事業、④助成事業

(2) その他

4. 議 事

第1号議案 8020情報収集委員会委員の選任について

小玉専務理事より、定款の規定ならびに委員会規程により、8020情報収集委員会の委員を選任する旨、提案があり、全員異議無く承認した。なお、任期は令和5年7月1日より2年とする。

5. 協 議

(1) フォーラム8020について

小林副理事長より令和5年度のフォーラム8020の企画概要と進捗について説明がなされ、実施に向けて準備を進める旨、申し合わせた。

(2) 今後の8020推進財団における活動の方向性について

蓮池副理事長より、8020運動の現状を把握し本財団の活動方針の参考とするために各理事より意見を伺いたいとの提案があり、全出席者が発言し意見交換を行った。

6. 閉会の辞

副理事長 蓮 池 芳 浩

議事録署名人

理 事 長	高 橋 英 登
監 事	熊 澤 榮 三
監 事	酒 井 昭 則

④ 第3回理事会

開催日時 令和5年9月28日（木）午前10時～10時30分

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数23名 出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、蓮池芳浩、小林慶太、山本秀樹、寺島多実子

Web会議により出席した理事

吉岡貴司、小玉 剛、三代知史、近藤太郎、芦谷浩明、飯島勝矢、伊藤明彦、上野尚雄、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、谷 征大、柘植伸平、中尾潔貴、中谷道子、中原 賢、丸山博之、吉田直美

Web会議により出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠 席 者 欠席理事数2名

欠席した理事の氏名

西永英司、山本美登里

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の23名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞

副理事長 小林 慶太

2. 挨拶

理事長 高橋 英登

3. 報告

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として以下の事項の報告が行なされた。

①第2回理事会の開催、②第25回評議員会の開催、③ロゴマークの普及事業、④令和5年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会（令和3年度報告より）、⑤調査研究事業、⑥助成事業、⑦令和5年度フォーラム8020、⑧8020情報収集委員会、⑨その他

(2) その他

議長の求めに応じ、小林副理事長より「令和5年度の調査研究事業」、「噛むカムチェックガムを用いた普及啓発事業」について、蓮池副理事長より「8020情報収集委員会」について経過報告がなされた。

4. 議 事

第1号議案 令和5年度歯科保健活動事業の採択及び助成交付額について

小林副理事長より、地域歯科保健活動への助成事業として地域歯科保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき令和5年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ全員意義なく承認した。なお、審議対象の東京都東久留米市歯科医師会の会長である小玉専務理事、東京都立川市歯科医師会の顧問である山本常務理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

第2号議案 令和5年度公募研究課題の採択及び助成交付額について

山本常務理事より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として8020調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき令和5年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ、全員意義なく承認した。

5. 閉会の辞

副理事長 蓮池 芳浩

議事録署名人

理事長 高橋 英登
監事 熊澤 榮三
監事 酒井 昭則

⑤ 第4回理事会

開催日時 令和6年2月21日（水）午後2時～3時

場 所 東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館801・802会議室

出席者 出席理事数24名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

高橋英登、吉岡貴司、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、飯島勝矢、伊藤明彦、小林隆太郎、柘植紳平、西永英司、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

近藤太郎、芦谷浩明、上野尚雄、田口円裕、谷 征大、中尾潔貴、中谷道子、中原 賢、丸山博之、吉田直美

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者 欠席理事数1名

欠席した理事の氏名

住友雅人

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、高橋英登理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数25名のうち過半数の24名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また本理事会はWeb会議システムを使用して開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞

副理事長 蓮 池 芳 浩

2. 挨拶

理 事 長 高 橋 英 登

3. 報 告

(1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項について報告がなされた。

①第3回理事会の開催、②会誌「8020」の発行、③国民向け啓発小冊子の作成・配布、④第21回フォーラム8020、⑤8020運動ポスター、⑥理事長賞の贈呈、⑦噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑧ロゴマークの普及事業、⑨調査研究事業、⑩助成事業（歯科保健活動助成事業・8020公募研究助成事業、公募研究課題の論文作成状況アンケートの実施）、⑪令和5年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会（令和3年度報告より）、⑫後援名義使用の許可、⑬ホームページの整備、⑭歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑮8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第14弾）

(2) その他

4. 議 事

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員辞任に伴う後任の評議員を令和6年3月27日開催の第26回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
宮内 啓友 一般社団法人日本歯科商工協会 前理事	山中 一剛 一般社団法人日本歯科商工協会 副会長

第2号議案 第26回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第26回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団 第26回 評議員会議事次第		
日 時	令和6年3月27日（水）午後4時	
場 所	歯科医師会館 3階東京都歯科医師会会議室（WEB併用）	
1. 開会の辞		
2. 議長の選出		
3. 議事録署名人の選任		
4. 挨拶		
5. 報告		
	(1) 会務報告	
	(2) 令和6年度賛助会費の額	
	(3) 令和6年度事業計画及び収支予算	
	(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて	
	(5) 調査研究事業「8020横断調査」の実施について	
	(6) その他	
6. 議 事		
	第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について	
7. 協 議		
8. 閉会の辞		

第3号議案 令和6年度賛助会費の額

山本常務理事より、令和6年度の賛助会費の額を令和5年度と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

第4号議案 令和6年度事業計画及び収支予算

小玉専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされた後、山本常務理事より、令和6年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

令和6年度収支予算はOAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、経常収益計は127,754,000円、経常費用計は131,767,000円、当期経常増減額は△4,013,000円。経常外増減の部の増減はなし、指定正味財産の増減の部の増減はなし、当期一般正味財産増減額は△4,013,000円、正味財産期末残高は753,798,854円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当金」（但しゼロ円）についての記載もある。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

第5号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

山本常務理事より、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

令和6年度事業は令和5年度事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

第6号議案 調査研究事業「8020横断調査」の実施について

小林副理事長より、令和5年度および6年度の調査研究事業として、80歳における歯の残存状況（8020達成状況を含む）の実態を把握するための調査研究体制を確立することを目的とした調査研究事業として、いずれは全国規模の調査の実施を検討するため、今回は千葉県柏市を対象としたパイロット調査を実施する旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

第7号議案 ロゴマーク使用料規約の一部改正について

小玉専務理事より、ロゴマーク使用料規約の一部改正について定款36条理事会の権限第2項「規則の制定、変更及び廃止に関する事項」の規定に基づき提案がなされ、全員異議なく承認した。

5. 協 議

（1）定款の改正について

蓮池副理事長より、本財団が諸外国より8020運動の普及啓発事業の支援等の要請を受けた際に対応できるよう、来年度の理事会で定款の一部を改正したい旨の説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

（2）その他

6. 閉会の辞

副理事長 小林 慶 太

議事録署名人

理 事 長	高 橋	英 登
監 事	熊 澤	榮 三
監 事	酒 井	昭 則

(2) 評議員会

① 第24回評議員会

日 時：令和5年6月21日（水）午前11時～同11時45分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館701・702会議室

出席者：出席評議員数16名 出席理事数17名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

藤原元幸、甲野峰基、宮口 巖、齋藤秀子、宮内啓友、渡邊浩次、満武 純、鎗溝和子、三橋裕行、田中久美子

Web会議により出席した評議員の氏名

井上恵司、松井克之、澤田 隆、杉岡範明、岡林一登、下浦佳之

出席した理事の氏名

堀 憲郎、吉岡貴司、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、小山茂幸、飯島勝矢、住友雅人、柘植紳平、中尾潔貴、中谷道子、西永英司、福田雅臣、丸山博之、山本秀樹

Web会議により出席した理事の氏名

尾松素樹、吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通

Web会議により出席した監事の氏名

平田幸夫

欠席者：欠席評議員4名 欠席理事数6名

欠席した評議員の氏名

伊藤正明、川治久邦、安藤 孝、多田羅浩三

欠席した理事の氏名

芦谷浩明、上野尚雄、川口陽子、谷 征大、鳥山佳則、山本美登里

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：宮口 巖、田中久美子

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の16名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の

音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき宮口評議員、田中評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

1. 報 告

(1) 会務報告

議長の求めに応じ小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

- ①第6回理事会の開催、②第7回理事会、③第23回評議員会の開催、④監事会の開催、⑤会誌「8020」の発行、⑥国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑦令和5年度8020運動ポスター募集、⑧理事長賞の贈呈、⑨調査研究事業、⑩調査研究事業等検討会、⑪助成事業、⑫後援等名義使用の許可、⑬8020アンケート・プレゼントキャンペーン(第13弾)、⑭会員レター

(2) その他

議長の求めに応じ、海野常務理事より「財産運用に関する経過報告」、「賛助会費の納入依頼」について報告がなされた。

2. 決議事項

第1号議案 令和4年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの附属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を経たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定に基づき、小玉専務理事より令和4年度事業報告について、海野常務理事より令和4年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して資料に基づき説明がなされ、長尾監事より監査報告が行われたのち、全員異議なく承認した。

第2号議案 評議員の選任の件

小玉専務理事より、本定時評議員会終結の時をもって評議員全員の任期が満了するので、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第1項「評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により、令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇評議員の選任（20名）

評議員	藤田	純	(公社)福島県歯科医師会	理事
評議員	大島	修一	(一社)埼玉県歯科医師会	会長
評議員	井上	恵司	(公社)東京都歯科医師会	会長
評議員	良知	義弘	(一社)静岡県歯科医師会	監事
評議員	橋本	芳紀	(一社)兵庫県歯科医師会	副会長
評議員	橋本	成人	(一社)愛媛県歯科医師会	会長

評議員	脇田	晴彦	(一社)大分県歯科医師会 会長
評議員	森野	隆	(公社)日本歯科技工士会 会長
評議員	齋藤	秀子	(公社)日本学校歯科医会 副会長
評議員	宮内	啓友	(一社)日本歯科商工協会 理事
評議員	満武	純	ライオン(株) シニアフェロー
評議員	渡邊	浩次	サンスター(株) プロケアチャンネル統括部長
評議員	川治	久邦	パナソニック(株) ビューティ・パーソナルケア事業部 パーソナルブランドマネジメント部長
評議員	岡林	一登	(株)ロッテ 中央研究所 噛むこと研究部部長
評議員	鏑溝	和子	(公社)母子保健推進会議 常務理事
評議員	三橋	裕行	(一社)日本家族計画協会 代表理事理事長
評議員	植村	大輔	(公財)母子衛生研究会 事業本部長
評議員	下浦	佳之	(公社)日本栄養士会 専務理事
評議員	田中	久美子	(一財)日本食生活協会 会長
評議員	森	亨	(一財)日本公衆衛生協会 会長

第3号議案 理事の選任の件

小玉専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り理事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない」の規定により令和7年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇理事の選任（五十音順、25名）

理事	芦谷	浩明	(株)ロッテ 中央研究所 執行役員・所長
理事	飯島	勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
理事	伊藤	明彦	(一社)熊本県歯科医師会 会長
理事	上野	尚雄	国立がん研究センター中央病院 歯科医長
理事	小玉	剛	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	小林	慶太	元(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	小林	隆太郎	日本歯科医学会 総務理事
理事	近藤	太郎	近藤医院 院長
理事	住友	雅人	(一社)日本歯科医学会連合 理事長
理事	高橋	英登	日本歯科医師連盟 会長
理事	田口	円裕	東京歯科大学歯科医療政策学 教授
理事	谷	征大	(株)ロッテ 中央研究所 チューイング研究部部長
理事	柘植	紳平	(公社)日本学校歯科医会 副会長
理事	寺島	多実子	(公社)東京都歯科医師会 会員
理事	中尾	潔貴	(一社)日本歯科商工協会 会長
理事	中谷	道子	サンスター(株) 広報部長
理事	中原	賢	日本歯科大学 副学長
理事	西永	英司	ライオン(株) 研究開発本部 副本部長兼戦略統括部長
理事	蓮池	芳浩	(一社)石川県歯科医師会 顧問
理事	丸山	博之	サンスター(株) プロケアチャンネル営業部 学術情報グループ長
理事	三代	知史	(公社)日本歯科医師会 常務理事
理事	山本	秀樹	(公社)日本歯科医師会 常務理事

理事 山本 美登里 (公社)日本歯科医師会日本歯科総合研究機構 主任研究員
理事 吉岡 貴司 サンスター(株) 取締役副会長
理事 吉田 直美 (公社)日本歯科衛生士会 会長

第4号議案 監事選任の件

小玉専務理事より、本定時評議員会終結の時をもって監事全員の任期が満了するので、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り監事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和7年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇監事を選任（五十音順、2人）

監事 熊澤 榮三 (公社)福岡県歯科医師会 顧問
監事 酒井 昭則 (一社)岡山県歯科医師会 顧問

第5号議案 役員の報酬について

小玉専務理事より、本財団の運営整備並びに新規事業の検討を進めるため、本年6月の役員改選を機に常勤専務理事を置く場合、「公益財団法人8020推進財団 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」に則り報酬を支払うことの提案がなされ、全員異議なく承認した。

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	宮 口	厳
評議員	田 中	久美子

② 第25回評議員会

日 時：令和5年7月19日（水）午後2時～2時45分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館1階大会議室

出席者：出席評議員数19名 出席理事数21名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

藤田 純、大島修一、森野 隆、宮内啓友、渡邊浩次、満武 純、三橋裕行、田中久美子

Web会議により出席した評議員の氏名

井上恵司、良知義弘、橋本芳紀、橋本成人、脇田晴彦、齋藤秀子、川治久邦、鎗溝和子、植村大輔、下浦佳之、森 亨

出席した理事の氏名

高橋英登、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、近藤太郎、伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、田口円裕、柘植紳平、丸山博之、山本美登里、吉田直美

Web会議により出席した理事の氏名

上野尚雄、谷 征大、中尾潔貴、中谷道子、中原 賢

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者：欠席評議員 1 名 欠席理事数 4 名

欠席した評議員の氏名

岡林一登

欠席した理事の氏名

吉岡貴司、芦谷浩明、飯島勝矢、西永英司

議長の氏名

定款第 2 1 条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：鍵溝和子、渡邊浩次

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第 2 1 条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数 2 0 名のうち過半数の 1 9 名が出席となり、定款第 2 2 条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会は W e b 会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

○議長の選出

小玉専務理事より定款第 2 1 条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第 2 4 条第 2 項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき鍵溝和子評議員、渡邊浩次評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

1. 報 告

議長の求めに応じ小玉専務理事より、以下の事項について報告がなされた。

- (1) 8 0 2 0 推進財団の組織体制
- (2) 理事・監事について
- (3) 本財団の事業内容
- (4) 令和 5 年度事業計画・収支予算
- (5) 委員会委員について
- (6) 会務報告（令和 5 年 6 月 2 1 日から 7 月 1 2 日迄）

①第 2 4 回評議員会の開催、②第 1 回理事会の開催、③ロゴマークの普及事業（使用許可の申請状況）、④助成事業の実施状況

- (7) その他

蓮池副理事長より「今後の 8 0 2 0 推進財団における活動の方向性」について、同日開催された第 2 回理事会にて意見交換し、今後 8 0 2 0 情報収集委員会にて検討を予定しているとの報告がなされた。

2. 協議事項

(1) フォーラム8020について

小林副理事長より、令和5年度フォーラム8020の企画の企画概要と進捗について説明がなされ、実施に向けて準備を進める旨、申し合わせた。

(2) 8020推進財団の活動について

小林副理事長より、本財団の主な事業の1つである普及啓発事業について、小冊子・会誌等の制作物やHPのコンテンツを用いた展開状況について紹介があり、今後の8020運動の展開や財団活動方針に関する協議と並行し、整備を進めていく旨の説明がなされた。

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	鎗 溝	和 子
評議員	渡 邊	浩 次

③ 第26回評議員会

日 時：令和6年3月27日（水）午後4時～同5時

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館3階東京都歯科医師会会議室

出席者：出席評議員数16名 出席理事数20名 出席監事数2名

出席した評議員の氏名

宮内啓友、渡邊浩次、満武 純、鎗溝和子、三橋裕行

Web会議により出席した評議員の氏名

藤田 純、良知義弘、橋本芳紀、橋本成人、脇田晴彦、森野 隆、齋藤秀子、岡林一登、
下浦佳之、田中久美子、森 亨

出席した理事の氏名

高橋英登、蓮池芳浩、小林慶太、小玉 剛、山本秀樹、寺島多実子、三代知史、飯島勝矢、
伊藤明彦、小林隆太郎、住友雅人、柘植紳平、中原 賢、西永英司、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、上野尚雄、谷 征大、中谷道子、丸山博之

出席した監事の氏名

熊澤榮三、酒井昭則

欠席者：欠席評議員4名 欠席理事数5名

欠席した評議員の氏名

大島修一、井上恵司、川治久邦、植村大輔

欠席した理事の氏名

近藤太郎、芦谷浩明、田口円裕、中尾潔貴、吉田直美

議長の氏名

定款第21条の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：渡邊浩次、鎗溝和子

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数20名のうち過半数の16名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき渡邊評議員、鎗溝評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

1. 報 告

(1) 会務報告

小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

- ①第2回理事会の開催、②第25回評議員会の開催、③第3回理事会の開催、④第4回理事会の開催、⑤会誌「8020」の発行、⑥国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑦第21回フォーラム8020、⑧8020運動ポスター、⑨理事長賞の贈呈、⑩噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑪ロゴマークの普及事業、⑫調査研究事業、⑬助成事業（歯科保健活動助成事業、8020公募研究事業、公募研究課題の論文作成状況アンケート）、⑭令和5年度歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会、⑮後援等名義使用の許可、⑯ホームページの整備、⑰歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑱8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第14弾）、⑲8020情報収集委員会

(2) 令和6年度賛助会費の額

(3) 令和6年度事業計画及び収支予算

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

(5) 調査研究事業「8020横断調査」の実施について

(6) その他

議長の求めに応じ、小玉専務理事より令和6年2月21日開催の第4回理事会にてロゴマーク使用料規約の一部改正について議決承認された旨の報告がなされた。

2. 決議事項

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和9年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
宮内 啓友 一般社団法人日本歯科商工協会 前理事	山中 一剛 一般社団法人日本歯科商工協会 副会長

3. 協議事項

(1) 公益財団法人8020推進財団「定款」の一部改正について

蓮池副理事長より、本財団が諸外国より8020運動の普及啓発事業の支援等の要請を受けた際に協力できるよう、来年度を目途に定款の一部を改正したい旨の説明がなされた後、意見交換がなされた。

(2) その他

議事録署名人

議 長	満 武	純
評議員	渡 邊	浩 次
評議員	鎗 溝	和 子

(3) 委員会等

令和5年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

① ロゴマーク使用許可審査委員会

書 面 審 査	令和5年 6月30日	サンスター株式会社 (2件)
第1回委員会	令和5年 8月31日	サンスター株式会社 (2件)
書 面 審 査	令和5年 9月27日	サンスター株式会社
書 面 審 査	令和5年11月15日	サンスター株式会社 (2件)
書 面 審 査	令和6年 1月12日	サンスター株式会社
書 面 審 査	令和6年 2月26日	サンスター株式会社

② 会誌編集委員会

第2回委員会	令和5年 4月12日
第1回委員会	令和6年 2月27日

③ 広報委員会

第2回委員会	令和5年 4月11日
第1回委員会	令和5年12月13日

④ 地域歯科保健活動推進委員会

第1回委員会	令和5年 8月30日
--------	------------

⑤ 8020調査研究委員会

第1回委員会	令和5年 9月 6日
第2回委員会	令和6年 3月26日

- ⑥ 8020ポスター審査会
令和5年度審査会 令和5年11月 8日

- ⑦ 調査研究事業等検討会
第3回検討会 令和5年 4月 5日
第3回小委員会 令和5年 4月26日
第1回検討会 令和5年 9月13日
第1回小委員会 令和5年11月29日
第2回小委員会 令和6年 2月19日

- ⑧ 8020情報収集委員会
第1回委員会 令和5年 9月14日
第2回委員会 令和5年11月 1日
第3回委員会 令和5年12月 6日
第4回委員会 令和6年 2月27日

9. 事業活動

(1) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、日常生活で役立つ歯と口の健康情報と歯科関係者に役立つ専門的な情報や本財団の事業報告などを盛り込み、年1回発行している。

令和5年度(23号)は「働く世代の8020～豊かな老後を迎えるための口腔保健～」をテーマに制作した。本会誌は賛助会員のみならず、関係団体や全国保健所等への配布を通じて広く情報発信し、ホームページに掲載することで8020運動や本財団の活動内容の周知を進めている。

(2) 国民向け啓発小冊子の作成・配布

8020運動の普及と8020達成に役立つ啓発小冊子を作成し、全国の保健所・行政・関係団体を通じて広く配布し、国民に周知している。

啓発小冊子の企画・制作にあたっては、テーマ・年齢層を固定せず、様々な世代が日常生活で役立つ歯と口の健康情報を取りあげて作成している。

① 「高齢者のお口のトラブルとケア」

高齢者を対象とし年齢に合ったケアでお口の中から健康を維持するべく“人生100年時代の「口腔健康管理」”をテーマに小冊子「高齢者のお口のトラブルとケア」を作成し、令和6年1月に賛助会員並びに全国の保健所・行政等の各関係方面に15万部を配布し、ホームページにも掲載した。なお、本事業は一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて実施している。

② 「口腔機能発達不全症ってなあに？」8020読本

主に保護者や保育者、養護教諭などを対象に、口腔機能発達不全症の子どもの症例を紹介し、幼少期からの正しい口腔ケアの重要性を国民に伝えることをテーマに、小冊子「口腔機能発達不全症ってなあに？」を作成した。なお、賛助会員並びに全国の保健所・行政等の各関係方面に配布するとともに、財団ホームページに掲載を予定している。

(3) 第21回フォーラム8020の開催

「人生100年時代の8020運動」～到達目標から中間目標への転換～をテーマに令和5年11月25日(土)に開催した。

厚生省（当時）と日本歯科医師会が８０２０運動を提唱し開始した平成元年（１９８９年）の３５年前当時、日本人の平均寿命は男性７５．９歳・女性８１．８歳であったが、最新値では男性８１．４７歳・女性８７．５７歳と大幅に延伸し、人生１００年時代の到来と言われるようになった。

今回のフォーラムでは、８０２０運動を軸とした歯と口の疾病予防等が未来の健康長寿につながると期待されていることを踏まえ、「生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）」に向けた取り組みについて、各分野の専門家による講演と総合討論の形で情報発信した。なお、講演動画はホームページにて公開している。

<開催概要>

テーマ「人生１００年時代の８０２０運動」～到達目標から中間目標への転換～

○開会の辞：蓮池芳浩（公益財団法人８０２０推進財団 副理事長）

○挨拶：高橋英登（公益財団法人８０２０推進財団 理事長）

○来賓挨拶：加藤勝信 衆議院議員（前厚生労働大臣、元内閣官房長官）

丸川珠代 参議院議員（元東京オリンピック・パラリンピック競技担当大臣、元厚生労働大臣政務官）

○特別講演：「２０４０年に向けて、我が国の健康政策と歯科保健に求めるもの」

講師：大坪寛子 氏（厚生労働省 健康・生活衛生局長）

○シンポジウム：「人生１００年時代の８０２０運動の方向性と課題」

・講演１「口腔保健と社会的健康」

講師：高柳篤史 氏（東京歯科大学衛生学講座客員教授）

・講演２「口腔健康管理の目的と意味」

講師：小林隆太郎 氏（日本歯科医学会副会長）

・講演３「多歯時代の光と影 ―自己管理の限界と対策―」

講師：菊谷 武 氏（日本歯科大学教授・口腔リハビリテーション多摩クリニック院長）

・講演４「８０２０運動と国民皆歯科健診」

講師：山本秀樹 氏（公益社団法人日本歯科医師会 常務理事）

○総合討論「人生１００年時代の８０２０運動の方向性と課題」

座長：小林慶太 副理事長

シンポジスト：大坪寛子氏、高柳篤史氏、小林隆太郎氏、菊谷 武氏、山本秀樹氏

（４）８０２０運動ポスターの募集

ポスター制作を通じて、８０２０運動や歯の健康に対する認知・理解をより一層高めることを目的に「８０２０運動ポスター」の募集を行っている。

令和５年度は４月１日から９月３０日までに応募のあった８７６作品について１１月８日（水）に審査会を開催し、１２作品を選出した。

<最優秀賞（１名）>笠松 姫奈

<優 秀 賞（３名）>砂川 心、中川 伊生妃、小島 眸

<入 選（８名）>山下 智実、山下 星羅、大藪 悠也、蒲生 歩未、寒河江 悠、
河瀬 凜華、相田 結菜、檜原 陽菜

なお、審査結果・入選作品・受賞者のコメントをホームページに掲載し、併せて会誌「8020」第23号でも紹介した。

(5) 8020推進財団理事長賞の贈呈

歯の維持がその後の健康との関わりを含め、人生に大きく影響することの重要性について8020達成者の表彰を通して社会に提言・理解を促進することを目的に8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者は各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請され、都道府県歯科医師会が行っている事業にて表彰を行っている。

令和5年度は、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、千葉県、埼玉県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、大阪府、広島県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、宮崎県、沖縄県の28都府県より申請がなされ、賞状を授与した。

(6) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

8020運動の推進、歯の健康保持に対する関心を高める一環として、噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業を進めている。

令和5年11月22日付・財団発第91号文書「噛むカムチェックガムに関するアンケートについて（お願い）」をもって都道府県歯科医師会にアンケートを実施し、ガムの利用状況を確認した。ガムは都道府県歯科医師会へ例年一定量を提供していたが、アンケート結果に基づき配布方法を見直し、都道府県歯科医師会ごとの要請数に応じて適宜配布した。

また、噛むカムチェックガムナビゲーター（スマートフォンおよびPC用のツール）を制作し、それに合わせて実施要綱及び指導手引きを改正し、ホームページに公開した。

(7) ロゴマークの普及

本財団のロゴマークを商品や制作物に使用することで8020運動を普及啓発する目的に、賛助会員からロゴマーク使用申請があったものに対して審査し使用を許可している。

令和5年度は賛助会員から9件のロゴマーク使用申請があり、ロゴマーク使用許可審査委員会で使用目的・用途、制作物や商品が8020運動に相応しいものか、ロゴマーク使用規約に準拠しているかなどの審査を実施し理事長に報告した結果、全ての申請に対してロゴマークの使用を許可した。

(8) 歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会の開催

地域や研究機関を通じて8020運動に関わる活動・研究を広く周知することを目的に、歯科保健活動事業および公募研究の中から地域等で取り組みやすい方法・事業例や8020運動に興味関心を抱くような課題を各3題選定し、報告会・発表会を開催している。

今年度は、令和3年度に採択された事業・研究課題より講演・質疑応答を収録し、公募研究発表会は令和5年10月中旬に、歯科保健活動事業報告会は令和6年1月下旬にそれぞれホームページで公開した。

① 歯科保健活動事業報告会（令和３年度報告より）

歯薬連携強化によるかかりつけ歯科医機能の充実を目的とした 連携ネットワーク推進のためのパイロット事業（２） 公益社団法人 香川県歯科医師会 岡田 寿朗 先生
・生涯を通じた歯科健診・保健事業 ・咀嚼の効用に関連したテーマに関する事業 公益社団法人 東京都向島歯科医師会 石倉 裕晃 先生
Webサービスを活用した通いの場や介護予防教室等における オーラルフレイルに対する予防事業 一般社団法人 奈良県歯科医師会 小向井 英記 先生

② 公募研究発表会（令和３年度報告より）

多職種連携医療における動画を用いた口腔内評価の有効性の検証 鈴木 啓之 氏（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 特任助教）
COVID-19関連ECMO患者の定量的口腔内状況把握と口腔衛生管理が転帰に及ぼす影響 近藤 誠二 氏（福岡大学医学部 歯科口腔外科学講座 主任教授）
唾液ATP測定検査を用いた高齢者における根面う蝕リスク評価の構築 半場 秀典 氏（東京歯科大学 保存修復学講座 講師）

（９）後援等名義使用の許可

令和５年度は以下の関係団体より依頼を受け、後援名義の貸与を了承した。

- ・第４４回むし歯予防全国大会 in NUMAZU
（申請日：令和５年４月２０日）
主催：特定非営利活動法人日本フッ化物むし歯予防協会）
- ・第２８回口腔保健シンポジウム
（申請日：令和５年５月２２日）
主催：公益社団法人日本歯科医師会
- ・全国生活習慣病予防月間２０２４
（申請日：令和５年９月６日）
主催：一般社団法人日本生活習慣病予防協会
- ・第２２回秋田県歯科保健大会並びに歯科保健医療フォーラム
（申請日：令和５年１０月３１日）
主催：秋田県、秋田県教育委員会、秋田県歯科医師会
- ・いい歯キラメキ２０２３キャンペーン サンスターファミリーミュージカル
（申請日：令和５年１１月１７日）
主催：サンスター株式会社
- ・第４２回日本顎咬合学会学術大会・公開フォーラム
（申請日：令和６年１月１９日）
主催：特定非営利活動法人日本顎咬合学会

(10) ホームページの整備

「８０２０運動」のさらなる周知・啓発、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報を広く国民・社会に提供するため、ホームページの整備・充実を進めている。

令和５年度は国民向けコンテンツの「ナオミ通信」「８０２０動画コーナー」の情報更新・充実化や、「口腔機能発達不全症」について国民に周知するための啓発小冊子（８０２０読本）と連動したコンテンツ作成を進めている。

また、歯科関係者向けに歯科口腔関連情報をまとめた「データバンク」の情報更新・充実化も進めている。

(11) ８０２０アンケート・プレゼントキャンペーン（第１４弾）

令和５年１１月１日から令和６年２月２９日まで、本財団のホームページにおいて、一般の方を対象として「８０２０運動」の認知度や、財団ホームページの閲覧・利用状況等に関するアンケート調査を実施した。アンケート参加者には、抽選で１００名に本財団発行の８０２０啓発小冊子とライオン株式会社の協力による賞品をプレゼントした。

なお、アンケートから「８０２０運動」の認知度が８１．２％にのぼることが分かった。

また、本財団ホームページの閲覧目的は「歯のみがき方、お口の手入れの方法を知るため」が５８．６％、「歯やお口についてのマメ知識」が５０．９％、「生活情報を知るため」が２５．８％との調査が得られた。

(12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ

平成２３年８月１０日に歯科口腔保健法が公布され、都道府県における「歯科保健条例」の制定状況を本財団ホームページ内のマップにまとめ、国民に周知している。

令和６年３月末現在、４５道府県および２４３市区町村で条例が制定されている。

(13) 調査研究事業

８０２０運動や歯科・口腔の健康と全身の健康の関連等について、調査・研究を実施している。

令和５年度は調査研究事業等検討会にて調査研究の企画を検討し、「８０２０の実態把握に関するパイロット調査」を実施するとして日本歯科医学会での研究倫理審査を経て、令和６年度に調査研究を実施する。

本調査は、歯科医師による口腔内診査や問診を行う歯科疫学調査であり、８０歳の歯の残存状況の実態を把握するための調査研究体制を確立することを目的としている。今後、全国規模の調査を検討するにあたり、まずは千葉県柏市におけるパイロット調査の実施を計画している。

(14) 助成事業

① 令和５年度８０２０公募研究事業

令和５年９月６日（水）に８０２０調査研究委員会を開催し、７月３１日の締切りまでに応募のあった４２題の公募研究申請について審査を行い、理事会を経て下記の１５題の採択と助成交付額を決定した。

研究課題と申請者等は下表のとおり。

<公募研究課題>

- １．歯科口腔保健に関する疫学研究
- ２．８０２０と全身の健康（生活習慣病、フレイル、オーラルフレイル、認知症、ADL、QOL等）に関する研究
- ３．介護・医療（終末期医療を含む）等に関する研究
- ４．小児・高齢者の口腔機能（摂食・嚥下機能を含む）及び口腔健康管理等に関する研究

5. オーラルヘルスプロモーション及び歯の喪失防止に関する研究

6. 自由研究課題

申請者	所属	職名	研究課題
岩井 浩明	朝日大学歯学部 口腔感染医療学講座 社会口腔保健学分野	講師	後期高齢者歯科健診データを用いた口腔の健康状態と認知症との関連
角田 伊知郎	岡山大学病院 歯科・予防歯科部門	医員	ナッジ理論の応用による 65 歳以上の口腔衛生行動の変化
水谷 慎介	九州大学大学院 歯学研究院附属 OBT 研究センター	准教授	高齢者における口腔機能低下と転倒リスクとの関連
徳本 佳奈	兵庫医科大学医学部 歯科口腔外科講座	助教	食事時の咀嚼運動と認知機能との関連 ：地域在住高齢者を対象とした横断調査
佐藤 美寿々	北海道大学歯学研究院 予防歯科学教室	学術研究員	糖尿病をもつ人の歯科受療行動と糖尿病診療ガイドライン改定の影響ービックデータを活用した実態把握及び時系列分析
鈴木 啓之	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	助教	癌終末期患者に対する多職種連携型の口腔管理の効果の検討
真柄 仁	新潟大学 医歯学総合病院	講師	口腔機能低下症の管理実施効果を身体機能と栄養状態から評価する縦断的研究
内田 学	東京医療学院大学 保健医療学部	准教授	姿勢と嚥下機能に着目した口腔機能低下症の予防法の検討
大川 純平	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	助教	舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか：深層学習を用いた舌の画像解析
岸本 裕充	兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座	主任教授	オーラルフレイルと心不全の関連を解明する
水頭 英樹	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯科放射線学分野	助教	欠損様式から部分床義歯補綴後の咀嚼能の向上を予測する
新明 桃	公益財団法人 ライオン歯科衛生研究所 研究部	歯科衛生士	高齢者における唾液分泌量の実態調査および唾液分泌と咬合状態に関する研究
吉岡 昌美	徳島文理大学 保健福祉学部口腔保健学科	教授	1 歳 6 か月児歯科健康診査時の新たなう蝕リスク指標と歯科保健指導ツールの開発
吉野 綾	福岡大学医学部医学科 歯科口腔外科学講座	講師	COVID-19 患者の口腔・肺外ネクロプシー検体の病理学的所見と口腔衛生管理との関連性解明
岡本 希	兵庫教育大学大学院 人間発達教育専攻	教授	学童期における咀嚼習慣と終末糖化産物 AGEs と肥満との関連

なお、令和 6 年度は、研究が円滑に実施されるよう事業スケジュールを早め、募集期間を令和 5 年 12 月 20 日から令和 6 年 1 月 19 日までとし課題の公募を行った。令和 6 年 3 月 26 日開催の第 2 回 8020 調査研究委員会にて 40 題の申請について審査を実施し、採択については令和 6 年度の理事会にて決議する。

② 令和５年度歯科保健活動事業への助成交付

８月３０日（水）に地域歯科保健活動推進委員会を開催し、６月３０日の締切りまでに応募のあった２７題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、理事会を経て下記の２１題を採択し、各事業に対して助成交付を行った。

事業名と申請団体名は以下のとおり。

申請団体	事業	実施組織
一般社団法人 宮城県歯科医師会	食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業	宮城県、一般社団法人宮城県歯科医師会
一般社団法人 埼玉県歯科医師会	ICT（Information and Communication Technology）を用いた障害者施設での摂食指導、口腔衛生指導システムの構築	埼玉県歯科医師会、明海大学歯学部機能保存回復学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野
一般社団法人 長野県歯科医師会	こども８０２０推進員育成事業	一般社団法人長野県歯科医師会
一般社団法人 新潟県歯科医師会	歯科医療従事者の保健指導力向上による「かかりつけ歯科医」機能強化事業	一般社団法人新潟県歯科医師会、公益財団法人新潟県歯科保健協会
一般社団法人 十勝歯科医師会	地域とともに８０２０推進活動	一般社団法人十勝歯科医師会
一般社団法人 会津若松歯科医師会	医科歯科連携の事業	一般社団法人会津若松歯科医師会
一般社団法人 八千代市歯科医師会	「咀嚼能力の維持・向上を期待した簡便なトレーニング～ガム噛みトレーニング～」と転倒リスクの相関性評価	一般社団法人八千代市歯科医師会、合同会社UNTRACKED、東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野、八千代市（後援）
一般社団法人 東京都東久留米市 歯科医師会	東久留米市内の保育園における口腔衛生指導	一般社団法人東久留米市歯科医師会、公益社団法人東京都歯科衛生士会、東久留米市
一般社団法人 東京都立川市歯科医師会	障害者施設通所者に対するフッ化物応用事業	一般社団法人東京都立川市歯科医師会
一般社団法人 調布市歯科医師会	歯と健康のつどい ８０２０・９０２０運動に関する事業	一般社団法人調布市歯科医師会
一般社団法人 横浜市歯科医師会	幼児期のう蝕罹患率の低下ならび乳歯列期から混合歯列期の口腔ケア及びかかりつけ歯科医受診勧奨を目的とした「しおり」や動画などを含むWeb活用による啓発活動	一般社団法人横浜市歯科医師会
公益社団法人 長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの実施	公益社団法人長野市歯科医師会
西春日井歯科医師会	オーラルフレイルの早期発見における口腔観察シートの有効性及びその活用に関しての調査研究	西春日井歯科医師会
一般社団法人 金沢市歯科医師会	やってみよう！おうちでブクブクむし歯予防！！フッ化物洗口体験事業	一般社団法人金沢市歯科医師会
一般社団法人 福岡市歯科医師会	歯科口腔保健の普及啓発事業・歯の喪失防止に関する調査事業	一般社団法人福岡市歯科医師会
一般社団法人 佐世保市歯科医師会	歯科医療関係者とケアマネジャーとの共同アセスメント推進事業	佐世保市歯科医師会、長崎県歯科衛生士会佐世保支部、佐世保市山澄地域包括支援センター、フレイルサポーター

特定非営利活動法人 はーもにープロジェクト	地域歯科保健サポート事業【人材バンクと ネットワーク形成】	特定非営利活動法人はーもにープロジェクト
公益財団法人 新潟県健康づくり財団	新潟大学歯学部との連携で行う「う蝕（むし歯） 予防管理システム」	公益財団法人新潟県健康づくり財団、新潟大 学歯学部
石巻圏摂食嚥下研究会	石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪	石巻圏摂食嚥下研究会
特定非営利活動法人 日本フッ化物むし歯予防 協会	生涯にわたるフッ化物応用普及啓発事業	フッ化物でむし歯予防をすすめるチーム静岡
愛知学院大学短期大学部	歯科衛生士をめざす学生に対する禁煙支援教育	愛知学院大学短期大学部、名古屋市歯科医師 会、名古屋市歯科医師会附属歯科衛生士専門学 校、名古屋デンタル衛生士学院、名古屋医専

③ 歯科保健活動助成事業・８０２０公募研究の報告書作成

令和４年度歯科保健活動助成事業および令和４年度８０２０公募研究の成果をまとめた報告書をそれぞれ作成し、令和５年１１月に賛助会員並びに関係方面に配布した。

また、各報告書抄録をホームページに掲載し、助成事業を周知した。

④ ８０２０公募研究課題 論文作成状況に関するアンケートの実施

８０２０公募研究助成事業において、採択した研究課題について、８０２０運動に関連する研究の情報収集および研究成果を周知する目的でアンケートを実施している。

令和５年度は令和４年度に採択された研究課題の申請者と平成２９年度から令和３年度の採択され昨年アンケート実施時点で論文執筆中と回答した申請者に対して、論文作成の有無や作成時期、掲載誌等のアンケートを実施し、回答と論文の提供を依頼し情報収集した。

(15) 会員レターの発行

本財団の活動報告をまとめた会員レターを年２回発行し、賛助会員等に送付・報告している。本年度は１０月に第３４号、３月に第３５号を発行した。

(16) 賛助会員証の発行

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。